

第3回山口県女性教員のための体育研修会実施報告

1 ねらい

- ・ 女性教員を対象にすることで、だれもが参加しやすく、体育についての悩みを気軽に話せる機会をつくる。
- ・ 県内の半数以上をしめる女性教員が体育についての研修を深めることで、県下全体の体育学習のレベルアップを図る。
- ・ 山口県下における体育学習の充実を目指すための人材ネットワークを構築する。

- 2 日時 平成21年8月17日(月)13:30~16:00
3 主催 山口県小学校体育連盟・山口県小学校教育研究会体育部
山口県教育委員会
4 会場 山口リフレッシュパーク(メインアリーナ)
5 参加者 県内女性教員60名
6 内容

第1部・第2部 実技指導並びに質疑応答

器械運動(遊び)

講師 山口大学附属山口小学校 山本純也 先生



新学習指導要領に明記されている「器械運動」領域での基本技から発展技への向上。そのために低学年で押さえおくべき大切な動きである腕で体を支持する感覚や体を順番にマットに接触させてい

く感覚、逆さ感覚、跳び箱の上に片足や両足踏切りで跳びあがる運動などを体験してもらいました。また、跳び箱運動の補助の仕方やマット運動での教え合ったり見合ったりする視点について説明を受け、1人1人が安心して、また、真剣に見合ったり教え合ったりしながら運動に取り組むことができました。

体づくり運動

講師 山口大学附属山口小学校 藤井学 先生



新学習指導要領で全学年で取り組むことになった「体づくり運動」。低・中学年で求められる多様な動き作りのためにボールや棒、ロープ、マットなどいろいろな道具を利用して、いろいろな運動の仕方

を紹介してもらいました。1つの動きから、2つの動きを組み合わせで行ったり、1人の運動から2人、3人・・・と仲間の数を増やしたりして、運動を楽しく進めることができました。これらのいろいろな運動を単元を通してどのように学習させていくのか(体づくり運動の単元化)が学校現場での大きな課題になりそうです。

ボール運動(ゲーム)

講師 宇部市立神原小学校 田中孝治 先生



新学習指導要領では、「ボール運動」がゴール型、ネット型、ベースボール型の3つの型に分けられました。今回は、ネット型の運動例としてプレルボールを体験してもらいました。先生方にはとても

好評で休憩時間にも楽しくプレルボールに取り組む姿が見られました。また、低・中学年のゲーム領域では、1対1の動きが基本になり、相手をかかわしたり、すばやく捕まえたりする動きの経験が大切になってきます。そこで、定番の宝運びゲームやタグとりおにを経験してもらいました。やはり、ゲームになると先生方の顔も真剣になり、しぜんと声が出ている姿がたくさん見られました。

参加者の声

体育はとても苦手で、研修会に出るのには少し勇気がいりました。同僚の先生が誘ってくれ参加してみて、少しカラがとれたような気がします。安心して実技にも入れました。ありがとうございました。苦手な子も入りやすい授業ができるようになりたいと思います。

器械運動での4人のグループ学習で、気付き等を話し合ったのが児童の立場になれたし、助言を真剣に考えたりして大変よい勉強になりました。体づくりは、もっと実技が多くてもよかったです。2人組の立ち座り等、資料に載っていないものが大変参考になりました。仲間を誘って、また来ます！

女性ばかりなので「苦手なものに挑戦してみようかな」という気持ちになれました。ティータイムは初めての人同士や講師の先生方と話せるよう工夫があるといいです。とても楽しかったです。

苦手な子どもたちに対する支援（言葉かけや場づくり）を分かりやすく教えていただいてよかったです。資料も分かりやすく、勉強になりました。

実際に体を動かして経験することが大切で、そこからつまずきやコツが見えてくるのだということが分かりました。これからも、いろいろな領域に参加したいです。

器械運動のスモールステップの指導が勉強になりました。細やかな配慮があり、快適な研修会でした。

ティータイムはうれしかったです。体づくり運動は、2学期からの準備運動の中にすぐに取り入れられそうでした。3つすべてやりたかったです。来年も楽しみです。

低・中・高の3つのブロックに分かれての内容であれば、2学期に即実践できるのではないかなと思いました。いつもは億劫に感じることも、みんなで楽しく実践でき、大変よい機会になりました。

日頃困っている点、聞きたい点などの質問コーナーもほしいです。

このような機会があると、体育に自信がなくても気軽に参加できてとてもよいと思います。もっと時間があると、いろいろ学べていいなあと思いました。